

年中 こまをまわしたい

昨日の年少と同じこまについて年中の今の姿をお伝えします。

1月に入り、こまに注目が集まっています。どんぐりごまなど、指先に力を入れて回すこまも人気ですが、年中は紐を使って回すことに熱いお友達が増えてきました。はじめは私が紐を巻いて手を一緒に添えて回す感覚を覚えるきっかけを作ったり、紐の巻き方のコツなどを聞かれたら伝えたりしていました。「やりたい」という気持ちがこの集中力を生むのでしょうか。ずっとこまを見つめてあきらめずに根気よく巻いていく姿は年中児らしいなと思います。次第に自分たちで取り組んでいく中でコツも掴んで、うまく紐をこまに巻き付けられるようになりました。「紐巻き名人」の次は「投げ名人」へ。上から下へ落とすのではなく、地面と平行して横から投げることを意識して何度も何度も紐を巻き直して投げ続けます。そして、上手くこまが回った時の瞬間は、本人だけでなく隣で同じように取り組んでいた仲間たちが一緒に喜んでくれます。そして「どうやったの？教えて」と友達がやり方を教えていき広げていくようになっていきました。

手作り凧を作っていた子は、巻いた紐の芯部分の厚紙に切り込みを入れていました。「こうするとひもがとまるんだ」ビニール袋に空気が送り込まれないと浮かないことに注目した子は閉じてしまったビニール袋の口を拡げ、さらに「つばさをつけてみよう」とまた修復作業に取り掛かっていきました。

この一人一人のこうしたいという情熱だったりこの試行錯誤する様子だったり、根気だったり、熱い思いで取り組む姿は本当にすてきで近くで見ていると幸せな気持ちになります。今の姿を見守りつつ応援したいと思います。

年中主任

